

事業所名 重症児デイサービスdash (児童発達支援)

## 支援プログラム (参考様式)

作成日

令和6年

9月

11日

法人 (事業所) 理念		医ケアがあっても、重度の障害があっても、ご家族様に寄り添って、一緒に子供の笑顔を作りたい。					
支援方針		楽しく過ごせる場となるように、子どもたちの意思を尊重し寄り添った支援をしていく。その中で苦手なことや難しいことにも挑戦し、学びや成長を促せるように支援していきます。					
営業時間		10時	30分から	14時	30分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	食事、排泄等の基本的な生活習慣を形成し、健康状態の維持に必要な生活リズムの保持や改善を支援します。また、主治医や学校、リハビリ機関等との医療的ケアの確認や日常活動、学習内容、リハビリ内容を共有し、支援に活かします。また、看護師や理学療法士等からの助言をもとに、必要な口腔内機能（話す、食べる、笑う、呼吸など）をはじめとする、姿勢保持、手指の運動機能等の状態に応じた自助具等に関する支援も行います。さらに、体温調節のためのクーリングや保温、衣服と室温の調節や換気、病気の予防や安全への配慮を行います。 【主な取り組み】・連絡ノート・日々の健康観察と確認・医療的ケア・口腔ケア、リハビリなど。					
	運動・感覚	看護師や理学療法士等からの指示や助言をもとに、障害特性に合わせた、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や動作の改善及び習得、上肢・下肢のストレッチや運動、関節の拘縮や側弯の予防、筋力の維持・低下予防を目指します。また、遊びの中で五感を意識し、ご本人の得意な感覚に刺激を与え、感情や感覚の認識の成長を促していきます。 【主な取り組み】・製作活動・リハビリ・集団遊びなど。					
	認知・行動	上記の【運動・感覚】を受け、どう感じ、どう表現していくかを一緒に考え、ご本人が得意な表現（表情や声、動作など）ができるように目指します。専門的なりハビリ機器以外にも創意工夫した道具を使い、また可能な運動可動域を生かし、表現できる喜びを増やしていきます。 【主な取り組み】・リハビリ・製作活動・集団遊びなど。					
	言語コミュニケーション	ご本人の障害特性に合わせたコミュニケーションツールを用い、スタッフやお友達との関りの中で、自分が伝えたいことを増やす支援を行います。表情や声色などの非言語コミュニケーションやご本人が得意な伝え方で、他者との関りの幅を広げられるよう目指します。 【主な取り組み】・朝の会・こんにちは会・帰りの会・絵本の読み聞かせ・地域の方との交流など。					
	人間関係社会性	保護者以外の大人と安心して過ごす事を目指すために、安心して甘えられる関係や場所だと認識できる支援を行います。信頼できるスタッフとの関係作りから、他児との関り方や遊びにつなげていきます。ご本人が安心して過ごすことができる居場所だと認識できるように目指します。 【主な取り組み内容】・朝の会・こんにちは会・帰りの会・お散歩・児童館、図書館の利用、地域の方との交流など。					
家族支援		・ご家族から寄せられた相談に対し、親身に寄り添い適切な支援を行います。 ・主治医から必要な医ケアの指示書をいただき、適切なケアを行います。			移行支援		・保育園や療育機関、就学先との連携や情報共有を行います。 ・児童館や図書館を利用し、同世代のこどもと関わる機会を作ります。
地域支援・地域連携		・かかりつけ医や相談支援専門医や関係機関（訪問看護やリハビリなど）との情報共有を行います。			職員の質の向上		月1回程度の職員研修の実施。必要時、社外研修の受講。
主な行事等		・毎月の製作 ・お誕生会 ・季節の遊び（お花見、運動会、水遊び、夏祭り、クリスマス会、凧あげ、七夕、ハロウィン・雪遊び、キャンプ遊びなど） ・地域交流（保育園交流会・堀切菖蒲園しょうぶまつり・かつしか灯明まつり・イヌネコ交流会）・葛飾区障害者作品展					